プレスリリース

日本農業法人協会

報道関係　各位

令　和　３　年　２　月　９　日
公益社団法人　日本農業法人協会

設立 20 周年記念　若手農業者コンテスト
「夢コンテスト 2040」～20 年後の経営ビジョン～開催案内について

公益社団法人日本農業法人協会は、20 周年記念事業として若手農業者コンクール「夢コンテスト 2040」を 3 月 1 日（月）にオンラインで開催いたします。

このコンテストは、各ブロックから選抜された当協会会員の若手農業者 7 名が、「20 年後の経営ビジョン」を発表し、最優秀賞を決定するものです。審査員には、当協会会長、一般社団法人アグリフューチャージャパン、一般社団法人日本経済団体連合会、農業情報学会、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）から参加いただきます。

また、この模様は You Tube を通じてライブ配信しますので、我が国農業の未来を担う農業経営者の熱い思いをぜひとも多くの方にご覧いただきたいと考えています。

つきましては、当協会で初の試みである「夢コンテスト 2040」について、貴メディアにおいて取り上げてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

１．日　　時　令和 3 年 3 月 1 日（月）14：45～17：20
２．会　　場　オンライン会議ツール ZOOM
３．申込方法　https://forms.gle/bS7MMWPcBoJikEmK9　（取材申込もこちらから）
４．公開範囲　イベント内フルオープン
５．添付資料
　　1　夢コンテスト開催案内（チラシ）
　　2　若手農業者コンクール「夢コンテスト 2040」開催概要

以上

本件に関するお問い合わせ先
（公社）日本農業法人協会　経営支援課　岸本・石川
TEL：03-6268-9500　FAX：03-3237-6811
Mail：kishimoto@hojin.or.jp:ishikawa@hojin.or.jp

「夢コンテスト2040」
～20年後の経営ビジョン～

主催：公益社団法人　日本農業法人協会

次世代農業者たちが20年後の経営ビジョンを語る

農業の未来を考えよう

少子高齢化や経済のグローバル化等、変革の時代を迎える日本農業において、農業界を活性化させるためには、次世代を担う若手農業者の活躍が必要不可欠となっています。

本コンテストでは、若手農業者の「20年後の経営ビジョン」を表彰することにより、新しい農業経営の創造や、農業界の明るい未来を広く発信することを目的とします。

矢萩氏

米田氏

河二氏

田渕氏

板橋氏

樫山氏

佐藤氏

当日の発表者はこちら

※発表順ではありません

ブロック	発表者名	法人名	タイトル（予定）
北海道・東北	（株）やまがた さくらんぼファーム	矢萩　美智	4度目の大ピンチ！コロナ危機から学んだ未来の農業のカタチ
関東	（株）リコペル	米田　茂之	20年後の経営ビジョン
北信越	（有）かわに	河二　利勝	22歳の若僧が大ボラを語る
近畿	（農）丹波たぶち農場	田渕　真也	縦の農業
中国	（有）岡山県農商	板橋　良樹	農福連携をもとに考える今後の発展
四国	（有）樫山農園	樫山　直樹	2040年ヴィジョン
九州・沖縄	（株）アグリ・コーポレーション	佐藤　義貴	20年後の経営ビジョン

開催日　：令和3年3月1日（月）14：45～17：20
開催方法：Zoom・You Tubeによるライブ配信
参加費用：無料
申込方法：Googleフォーム（２P目参照より）申込ください
参加資格：どなたでもご覧いただけます
※最優秀者決定の投票の都合上、関係者はZoom、その他の方はYou Tubeにて閲覧していただく予定です。

＝＝「夢コンテスト2040」＝＝

令和3年3月1日（月）14：45～17：20

各地方から選出された次世代を担う農業者が、2040年の農業経営のビジョンについて発表を行います。発表に対しては農業界の有識者によるコメントおよび審査が行われ、最優秀賞の選出を行います。

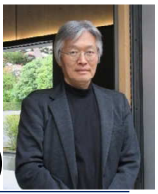
＜当日の審査員＞

（公社）日本農業法人協会
会長　山田　敏之 氏
※こと京都(株)　代表取締役

（一社）アグリフューチャージャパン
代表理事　副理事長　合瀬　宏毅 氏
（元NHK解説委員室　副委員長）

（一社）日本経済団体連合会副会長
農業活性化委員長　佐藤 康博 氏
（みずほフィナンシャルグループ 取締役会長）

農業情報学会
会長　南石　晃明 氏
（九州大学　大学院農学研究院　教授）



国立研究開発法人農業・
食品産業技術総合研究機構
（農研機構）企画戦略本部
農業経営戦略部長　　宮武　恭一 氏

＜タイムスケジュール＞

①開会・挨拶	14:45～（20分）
②発表	15:05～（40分）
（休憩）	15:45～（10分）
再開	15:55～（30分）
④投票・PR等	16:25～（20分）
⑤結果・講評	16:45～（35分）
⑥閉会	17:20

（当日のご留意点）

- ✓ 発表者や審査員を除く方はマイクオフにてご参加ください。カメラもオフで構いません。（Zoomの場合）
- ✓ Zoom参加者には投票にご協力いただきます。

（申込時のご留意点）

- ✓ 審査員の所属団体の方には審査資格がございます。該当者の方は申込時に所属団体区分をお忘れなきよう登録してください。

＜お申込先＞

Googleフォームで申込ください。
・申込締切　2月24日（水）
【申込URL・QRコード】
https://forms.gle/bS7MMWPcBoJikEmK9

＜お問合せ先（事務局）＞

公益社団法人 日本農業法人協会
TEL. 03-6268-9500
Email. soudan@hojin.or.jp
（担当：岸本、石川）

＜申込フォーム＞

＜イベント案内＞

若手農業者コンクール
「夢コンテスト2040」開催概要
主催:（公社）日本農業法人協会

開催概要

- 開催日時　2021年3月1日（月）14:45～17:20
- 開催方法　オンライン（ZoomとYouTubeの併用）
- 参加費用　無料
- 最優秀賞　賞状および副賞（賞金50万円）
- 申込方法　Googleフォーム(https://forms.gle/bS7MMWPcBoJikEmK9)
- 申込期限　2021年2月24日（水）
- その他　　当協会会員・審査団体関係者は審査資格を有します。

タイムスケジュール（予定）

①開会・挨拶	14:45～（20分）
②発表	15:05～（40分）
（休憩）	15:45～（10分）
再開	15:55～（30分）
④投票・PR等	16:25～（20分）
⑤結果・講評	16:45～（35分）
⑥閉会	17:20

夢コンテスト2040
発表者プロフィール

【北海道東北ブロック代表・山形県】
株式会社やまがたさくらんぼファーム　代表取締役　矢萩　美智　氏

1976年生まれ、天童市在住、妻と長女、長男、次女の五人家族。
将棋のまち、山形県天童市にある王将果樹園の三代目。
oh!show!café（オウショウカフェ）オーナー。
夢は日本一のさくらんぼ観光果樹園をつくること。
果樹の生産・販売・観光・加工・飲食を連携した6次産業化を展開中。

農林水産大臣賞受賞・山形県初さくらんぼJGAP認証・農福連携技術支援者（農林水産省認定）

【関東ブロック代表・山梨県】
株式会社リコペル　代表取締役　米田　茂之 氏

九州大学大学院 農学部を修了後、野村證券株式会社 金融経済研究所へ入社。
その後、九州大学発の眼科医薬品開発バイオベンチャーへ参画
大手企業向基幹システムの法人営業や病院立ち上げの医療コンサル業務なども経験。
2014年に当社を設立、2016年9月より山梨県北杜市でフルーツトマトの生産を開始。

【北信越ブロック代表・石川県】
有限会社かわに　　河二　利勝 氏

1997年に金沢市で5人姉弟の長男として生まれる。
小さい頃から畑を手伝っていたこともあり就職先は農業の選択肢しか持っておらず高校を卒業後、五郎島金時の生産・加工を行う、（有）かわにに就職。
現在は農業部門を担当し、トヨタとの改善活動やAI選別機の実用に向けて奮闘中。父が構築してきた6次産業を守りながら新たな道を築くために何をしようか模索中。今年のテーマは「勝負の年」です。

【近畿ブロック代表・兵庫県】
農事組合法人丹波たぶち農場　　田渕　真也 氏

平成12年　就農
平成14年　農事組合法人丹波たぶち農場　設立　理事就任
平成23年　兵庫県農協青壮年部協議会　委員長
平成25年、26年　兵庫県青年農業士会　会長
平成26年　全国優良経営体表彰　法人経営体部門受賞
平成29年、30年、令和元年　GLOBAL G.A.P取得

父親の農業経営に加わり土地利用型農業者として就農、農業の生産と流通を一体と考え法人化、周年雇用を進める。
丹波篠山市という地の利を生かし10年前から農業体験を合わせた観光農業をはじめる。
他の農業経営者と供に多数の法人を設立し生産者の収益向上、地域農業の活性化を目指す。

【中国ブロック代表・岡山県】
有限会社岡山県農商　代表取締役社長　板橋　良樹 氏

平成20年3月　岡山県立岡山農業大学校卒業

平成20年4月　有限会社岡山県農商入社

平成22年12月　有限会社岡山県農商取締役就任

平成25年7月　有限会社岡山県農商代表取締役就任

岡山県農商では青ねぎ・ミニトマトの周年栽培を軸に２０品目ほどの野菜の生産・出荷をおこなう。また関連法人岡山自立支援センターで障がい者を雇用し、岡山県農商と連携して、農業分野での障がい者雇用 ‘農福連携’ の発展に尽力する。

【四国ブロック代表・徳島県】
有限会社樫山農園　樫山　直樹 氏

2000年阿南工業高等専門学校建設システム工学科卒。

その後、JAEC派米農業研修事業を利用し、オレゴン州・カリフォルニア州にて研修。

2002年帰国と同時に就農し、個人農業を法人化。

創業時は上場企業と提携し、従来の農業経営とは違う形の経営をめざす。

フェンロー型ハウスで統合環境制御機を使った高糖度トマトの養液栽培、水田農業、有機農法の葉物野菜、菌床椎茸の栽培を行う。

【九州・沖縄ブロック代表・長崎県】
株式会社アグリ・コーポレーション　代表取締役　佐藤　義貴 氏

2011年に五島市三井楽町に4,000坪の農地を購入し農業経営をスタート。現在は45haの農地全てを有機認証を取得し、有機安納芋・有機紫芋といった甘藷専門のオーガニックファーマー。
「赤ちゃんに安全を、母親に安心を」をコンセプトに赤ちゃん向けに有機栽培した芋をベビーフードとして2019年に新設した工場で製造している。
「オーガニックをプラットフォームとした街づくり」を長期ビジョンに掲げ、耕作放棄地解消、地元雇用及び移住者を受け入れ41名体制。

夢コンテスト2040
審査員プロフィール

（公社）日本農業法人協会　会長　山田　敏之 氏
（こと京都(株)代表取締役）

1962年、京都市生まれ。大阪学院大学商学部経営学科卒業後、(株)コロネット商会勤務を経て1995年に就農。
2015年、九州大学大学院生物資源環境科学府修士課程修了

(有)竹田の子守唄を設立、後に、こと京都(株)に社名変更。
2014年、こと日本(株)を、2016年、こと京野菜(株)を設立、代表取締役社長に就任。2017年グループ売上高10億円突破。

現在、公益社団法人日本農業法人協会会長、一般社団法人日本食農連携機構理事、京都府農業経営者会議会長に就任。

一般社団法人アグリフューチャージャパン
代表理事　副理事長　合瀬　宏毅 氏

1981年 日本放送協会入局
鹿児島放送局、放送センター番組制作局ディレクター、名古屋放送局、米ウォールストリートジャーナル、放送センター番組制作局プロデューサー、放送総局解説委員、総合TV「たべもの新世紀」キャスターを経て
2017年　同　解説委員室　副委員長
2019年　同　解説委員室　解説主幹
2020年　（一社）ｱｸﾞﾘﾌｭｰﾁｬｰｼﾞｬﾊﾟﾝ代表理事副理事長（現任）

（一社）日本経済団体連合会副会長・農業活性化委員長　佐藤 康博 氏
（みずほフィナンシャルグループ 取締役会長）

2011年6月 株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役社長（グループCEO）

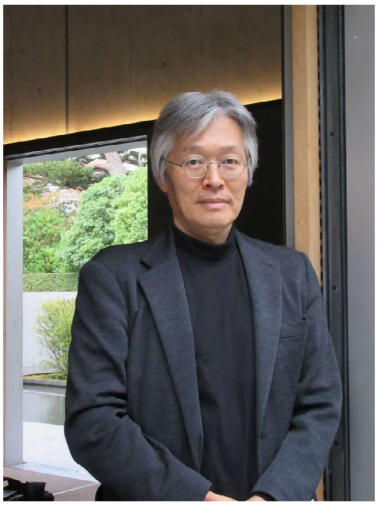
2014年6月 同 取締役兼執行役社長（グループCEO）

2018年4月 同 取締役会長兼執行役

2018年6月 同 取締役会長(現職)

※2015年より（一社）日本経済団体連合会農業活性化委員長、2020年より同副会長

農業情報学会会長　南石　晃明 氏
（九州大学　大学院農学研究院　教授）



農林水産省農業研究センター経営設計研究室長、
農研機構中央農業総合研究センター生産支援システム開発チーム長などを経て、
2007年から九州大学大学院農学研究院教授。

農学博士（京都大学）。専門は農業経営学、農業情報学など。
日本農業経営学会会長、農業情報学会会長，農業イノベーション大賞選考委員長等を務める。

農研機構　企画戦略本部
農業経営戦略部長　　宮武　恭一 氏

1965年香川県生まれ。
1988年筑波大学農林学類卒業後、農林水産省農業研究センターに入所。東北農業試験場、中央農業総合研究センター北陸研究センター、農林水産技術会議事務局等を経て、2019年から現職。

専門は大規模水田作経営の調査やコメ販売戦略の分析。主な著書に、「大規模稲作経営の経営革新と地域農業」農林統計協会、「変貌する水田農業の課題（共著）」日本経済評論社、「家族農業経営の変貌と展望（共著）」農林統計出版がある。